

## 令和 5 年度調査結果の概要

## 1 自動撮影カメラ（静止画）

渥美半島における野生イノシシの生息状況をモニタリングするため、大山山塊及び宇津江山塊において自動撮影カメラ調査（29 箇所）を実施し、撮影頻度をモニタリング（図 1-1）。



図 1-1

## 【結果】

- ・各地点における撮影頻度は表 1 のとおり。
- ・令和 5 年度は月ごとの撮影頻度は概ね例年通りであったが、9 月には撮影頻度が大幅に上昇した（図 1-2）。E-12 や H-11 の撮影頻度が増加したことや F-10 において幼獣が多く撮影されたことが考えられる。
- ・大山山塊における 1 月の撮影頻度は、令和 3 年度以降で最小となった。
- ・撮影頻度の空間分布から、過年度の傾向と同様に山中における撮影頻度が高く、わなによる捕獲圧を避けて生息していると考えられる（図 1-3）。

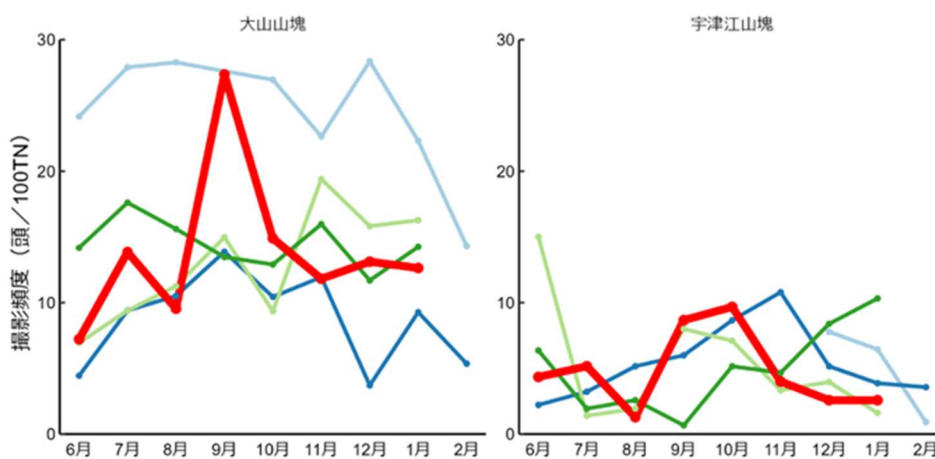


図 1-2 年度 — R01 — R02 — R03 — R04 — R05

表 1 各カメラにおける撮影頻度 (頭/100TN)

	地点 No.	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	全期間
大山山塊	D-08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00
	D-09	0.00	3.23	3.23	13.33	3.23	6.67	0.00	6.45	-	4.60
	D-10	0.00	6.45	3.23	3.33	22.22	※	7.69	12.90	-	7.94
	D-11	4.17	6.45	6.45	16.67	22.58	6.67	3.23	6.45	-	9.13
	E-07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00
	E-08	4.35	0.00	0.00	3.33	0.00	3.33	0.00	0.00	-	1.26
	E-09	8.70	0.00	0.00	6.67	0.00	0.00	0.00	0.00	-	1.67
	<u>E-10</u>	41.67	29.03	0.00	13.33	16.13	30.00	41.94	35.48	-	<u>25.42</u>
	E-11	4.17	54.84	32.26	0.00	3.23	10.00	41.94	9.68	-	<u>20.00</u>
	E-12	8.33	6.45	25.81	116.67	9.68	0.00	3.23	6.45	-	<u>21.99</u>
	F-09	0.00	0.00	3.23	16.67	9.68	10.00	19.35	6.45	-	8.33
	<u>F-10</u>	8.33	132.26	103.23	306.67	125.81	106.67	87.10	90.32	-	<u>122.08</u>
	F-11	4.17	22.58	6.45	10.00	16.13	6.67	6.45	29.03	-	12.92
	F-12	29.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	12.90	-	4.56
	G-09	8.33	6.45	9.68	0.00	4.35	※	14.29	3.23	-	5.95
	G-10	12.50	16.13	6.45	0.00	16.13	23.33	3.23	3.23	-	10.00
	G-11	29.17	9.68	3.23	3.33	3.23	0.00	0.00	0.00	-	5.42
	G-12	0.00	0.00	0.00	90.00	32.26	0.00	3.23	6.45	-	17.08
G-13	0.00	3.23	6.45	0.00	3.23	13.33	22.58	19.35	-	8.75	
G-14	0.00	0.00	0.00	3.33	16.13	0.00	0.00	0.00	-	2.50	
H-10	8.33	25.81	3.23	10.00	12.90	30.00	38.71	35.48	-	<u>20.83</u>	
H-11	0.00	0.00	3.23	36.67	32.26	6.67	9.68	6.45	-	14.11	
H-12	0.00	9.68	12.90	6.67	6.45	6.67	9.68	12.90	-	8.33	
H-14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	
宇津江山塊	J-14-SE	21.74	16.13	6.45	6.67	19.35	3.33	3.23	0.00	-	9.17
	K-13-SE	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00
	K-14-SE	0.00	9.68	0.00	0.00	6.45	6.67	0.00	12.90	-	4.60
	K-15-SE	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00
	L-14-SE	0.00	0.00	0.00	36.67	22.58	10.00	9.68	0.00	-	10.04

※カメラの不調により欠測



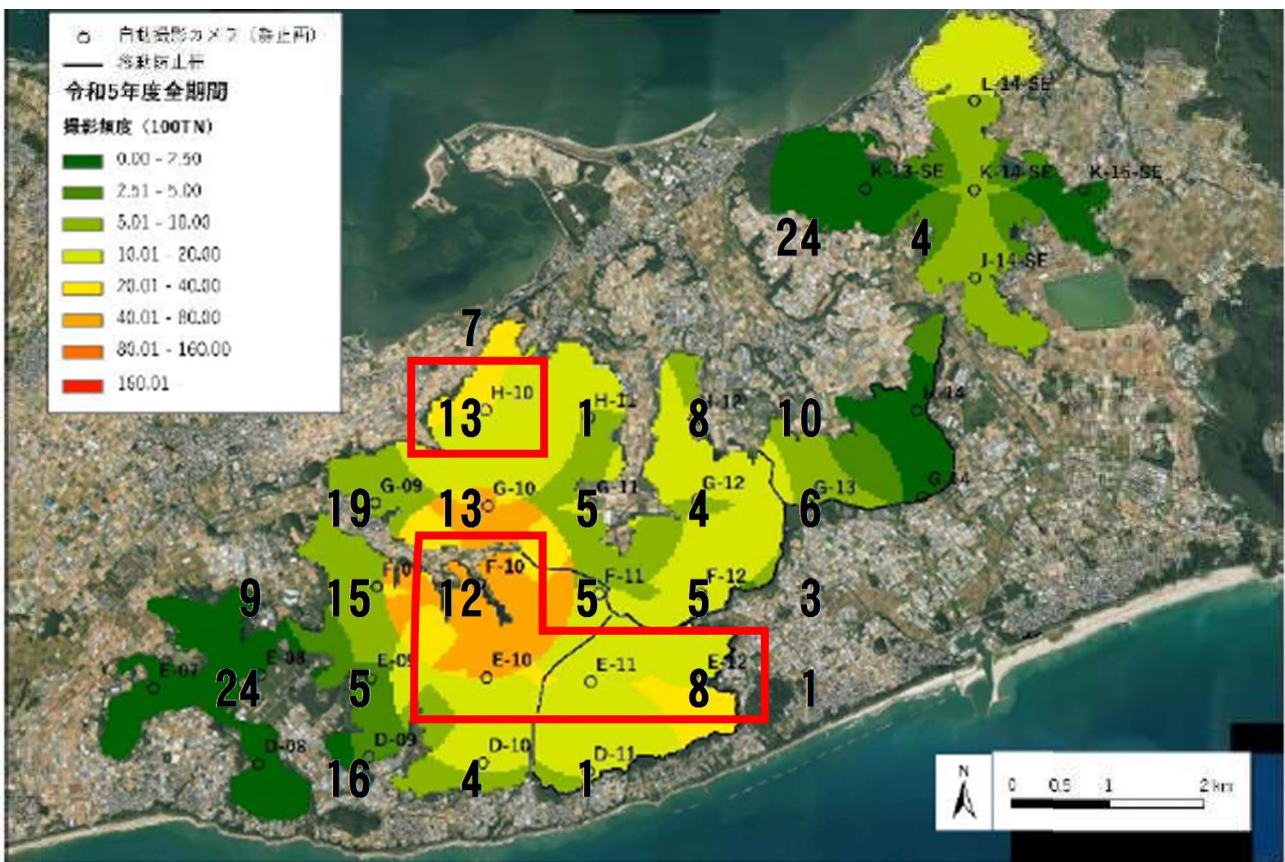
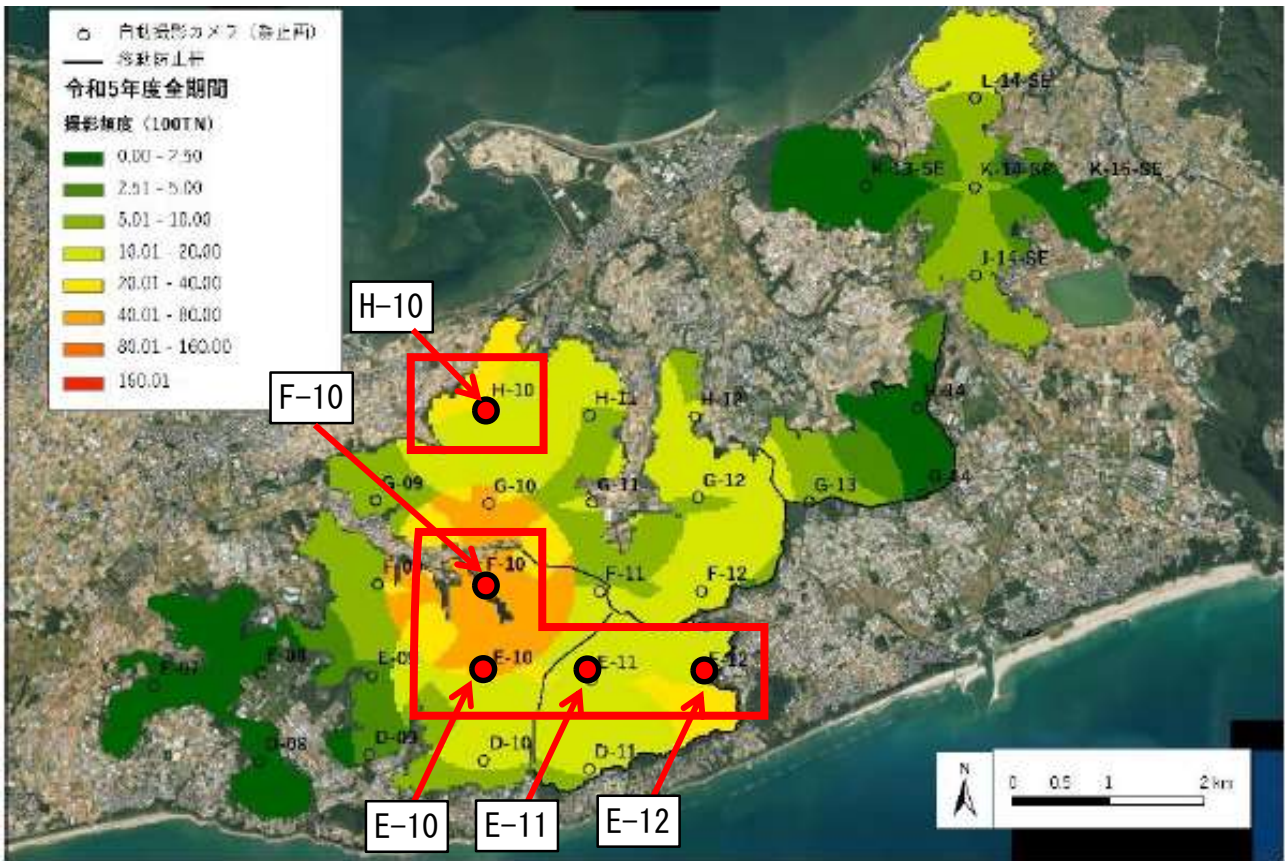


図 1-3 上図は撮影頻度の空間分布図、下図はメッシュごとの捕獲頭数 (2024 年 2 月末時点) と重ね合わせたもの



## 2 自動撮影カメラ（動画）

生息密度及び個体数推定のため、大山山塊においてRESTモデル適用のための自動撮影カメラ調査を実施。分断柵で区切られた4つのユニットの尾根上に調査ルートを設定し、各ユニットのルート上に5台ずつ、計20台のカメラを設置した（図2-1）。

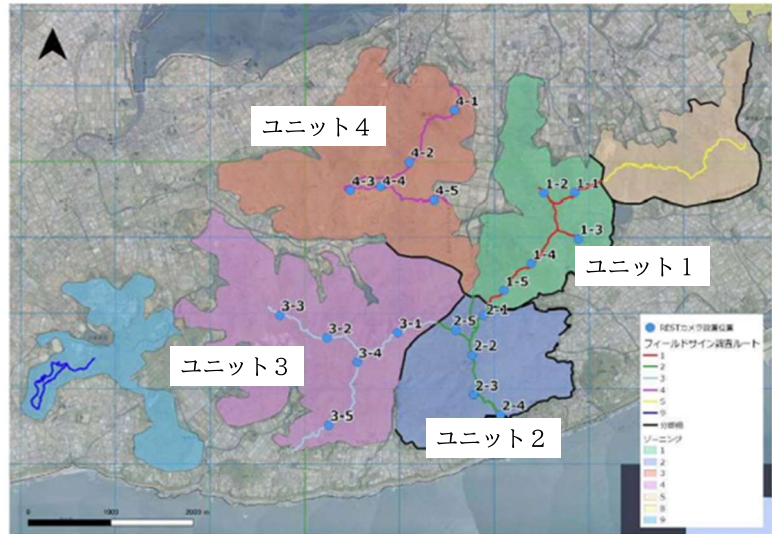


図 2-1 自動撮影カメラ（動画）の設置位置

### 【結果】

- ・ユニット1及び2において、令和5年6～8月の生息密度は過去最も高くなった。
- ・令和5年8～11月の生息密度は、いずれのユニットにおいても低下した。6月ごろはイノシシの出産期にあたり、今年出生した幼獣の影響による密度が高くなり、その後、自然死亡や捕獲により密度が低下したものと考えられる。
- ・令和5年11月～令和6年1月にかけては、大きな密度の変化はなかったが、ユニット1～3は増加、ユニット4は減少した。
- ・ユニット1、3及び4において、令和5年度11～1月の生息密度は令和4年度より低下した。

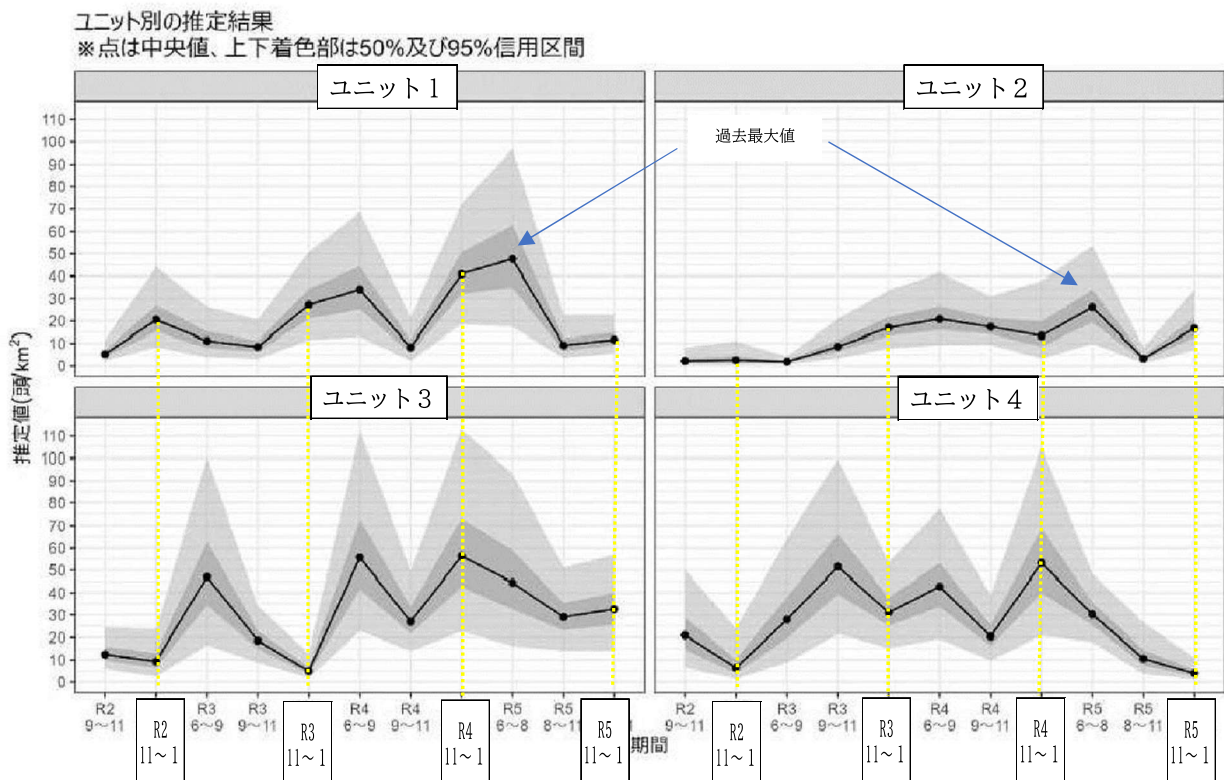


図 2-2 令和2年度から令和5年度のユニット別の生息密度

### 3 フィールドサイン調査

広域の密度指標として、大山山塊及び表浜海岸樹林帯において、フィールドサイン調査を実施した(表 3-1)。令和 2~5 年度のデータを用い、掘り返し密度(箇所/km)と REST モデルによる推定生息密度中央値(頭/km<sup>2</sup>)との関係から、大山山塊以外の生息密度及び生息頭数を推定した。

渥美半島全体の生息頭数は、359 頭 (11 月)、365 頭 (1 月) と推定され、昨年度同時期の推定結果 549 頭 (11 月)、956 頭 (1 月) と比べ、減少した。



図 3 1

表 3-1 推定された生息密度及び生息頭数

ルート	エリア面積 km <sup>2</sup>	踏査距離 km	フィールドサイン数		生息密度推定値		生息数推定値		其他地区	エリア面積 km <sup>2</sup>	生息数推定値	
			11月	1月	11月	1月	11月	1月			11月	1月
1	2.80	3.04	4	2	9.2	11.7	26	33	伊良湖岬	1.41	7	9
2	2.71	3.13	3	1	3.3	16.7	9	45	西ノ浜	4.30	22	27
3	5.51	4.95	15	1	29.1	32.6	160	180	蔵王山東部	2.05	10	13
4	4.82	4.18	5	3	10.5	4.0	51	19	大山東部	2.51	13	16
5	1.98	2.49	1	0	0.1	0.0	0	0	表浜西部	1.40	7	9
6	1.72	1.96	0	0	0.0	0.0	0	0	<b>総計</b>	<b>11.67</b>	<b>59</b>	<b>73</b>
7	8.93	2.80	4	0	5.2	0.0	47	0				
8	5.02	3.27	0	0	0.0	0.0	0	0				
9	2.03	2.59	0	0	0.0	0.0	0	0				
10	1.32	2.40	2	4	1.0	8.6	1	11				
11	1.68	2.99	3	2	1.7	0.5	3	1				
12	5.27	2.99	2	2	0.5	0.5	3	3				
<b>生息数計</b>							<b>300</b>	<b>292</b>	<b>渥美半島全体</b>		<b>11月</b>	<b>1月</b>
											<b>359</b>	<b>365</b>

表3-2 1月における生息頭数の推移

	ルート 1～4	ルート 5～12	ルート1～ 12合計	その他地区	渥美半島 全体
令和3年度	300	196	496	126	622
令和4年度	719	56	775	181	956
令和5年度	277	15	292	73	365

※令和3年度比 58.7%